

そこが聞きたい一般質問

9月定例会では、5人の議員が一般質問を行いました。教育や子育てを初め、土地開発・企業誘致・防犯・観光・文化財など、さまざまな観点から町の考えをたどりました。

◎=記事掲載あり ○=記事掲載なし



笠原則孝 議員…P.12

- ◎ たまむら田園花火の今後の実施計画はどのようになるのか
- ◎ 東毛広域幹線道路の道路形態等と、今後の施工計画はどのようになっているのか
- ◎ 防犯カメラの設置はどのように行うのか

石内國雄 議員…P.13

- ◎ 幼児子育て環境を問う
- ◎ 期日前投票の工夫で、投票率の向上を

町田宗宏 議員…P.14

- ◎ 小中学校の全教室に冷暖房機(エアコン)を設置せよ
- ◎ 小中学校の学期制を3学期制に戻せ
- ◎ 中央小学校の通学路の新設を急げ

原 幹雄 議員…P.14

- ◎ 住宅地確保の見通しは
- ◎ 企業誘致の状況は
- ◎ 庶民の生活を残す文化財の保存を
- ◎ 町の特徴の活用を

宇津木治宣 議員…P.15

- ◎ 町政運営について問う
- 上福島の7.4ヘクタールの開発促進を
- 北部公園の修景池の水質汚濁について

知名度が高まっている「たまむら田園花火大会」 今後の実施計画は

町 東毛広域幹線道路開通後は、別の候補地の選定も含めて検討する



笠 原 則 孝

Q 玉村町の花火大会はことしで25回目となり、すっかり夏の風物詩になった。全国的にも知名度は高く、「花火といえば玉村町」と言えるようになったと思う。しかし、現在工事中の東毛広域幹線道路が開通すると、今後の実施が危ぶまれる。どのように対応するのか。

〈町長〉 東毛広域幹線道路は、来年の9月が開通予定となっているため、来年の花火大会は現在の場所で開催できる予定である。しかし、開通後は花火大会会場の真ん中を東西に横断する形となるため、引き続き現在の場所で開催できるかどうか、たまむら花火大会実行委員会内に小委員会を設置し、検討を進めている。現在と同規模で実施できること、花火大会の魅力が一層発揮できること、駐車場を含めた交通体系の構築ができることなどを前提に、別の候補地の選定等も含めて検討していく。



石内 國雄

子育て支援センターを 第1保育所から独立させた施設に

町 もう一つ視点を変えた中で、
今後担当者と協議したい

Q 子育てをする親の環境が多様化している。これに対応するため、子育て情報の取得や親同士の交流が図れるよう、乳幼児

からの「ばば・ママサロン」を設置してはどうか。

〔町長〕 子育ての情報交換・交流の場として、地域子育て支援セン

ターがその役を担っている。

子ども育成課長 地域

子育て支援センターの来館者は、年間1万1996人である。第1保育所の中の1フロア、40坪を使用している。

Q 担当者2人で約1万人に対応している。今の子育て支援センターの状況で十分だと考えているのか。もっと拡大する考えはないか。

〔町長〕 満足しているわけではない。マンモス化している第1保育所の縮小と、もう1教室ふやした子育て支援センターも考えている。

Q 子育て支援対策を一元化し、情報交換とサービス提供と交流が図れる施設、子育てのための総合的・複合的な施設が必要だと考える。子育て支援センターを独立した施設とするべきだ。

〔町長〕 独立について参考にした。もう一つ視点を変えた中で、今後、担当者と協議していきたい。

Q 「期日前投票宣誓書」を事前に記入する取り組みを考えているか。

〔選挙管理委員会書記長〕 検討の結果、現行のままとすることにした。



地域子育て支援センター



Q 平成27年4月オープン予定の「たまむら道の駅(仮称)」については、経営主体が決まっているのか。

〔町長〕 現時点では決まっていない。

Q 今年度予算に計上されている防犯カメラについては、どのような計画で設置を行うのか。

〔町長〕 今年度は、県立女子大生の夜間の帰路の安全を考慮し、県立女子大から岩倉橋方面を設置候補地として、年内をめどに決定したい。



工事が進む東毛広域幹線道路